

衛星 AIS を用いた北極海航路の航行実態分析

近年の海氷面積の減少により、北極海航路の利用への期待が高まっていますが、その実現性を評価するためには、基本的情報となる航行可能時期や航行速度などの航行実態を捉えることが必要です。上図は、衛星 AIS（船舶自動識別装置）データを用いて、北極海航路を航行している船舶の状況を示したものです。こうした海氷中の速度や航行ルート等の情報は、北極海航路の商業利用の可能性を評価する上で重要な情報となり得ます。

（北極点の黒丸は、衛星が観測できないデータのない領域を示しています。）

港湾研究部 港湾計画研究室